



修了生からの
お便り



学び続けられる喜びこそ、 教師の原動力

愛知県の現職派遣教員として、特別支援教育コースに在籍させていただきました。笠原研究室で、肢体不自由、重度・重複障害の子供たちへの指導と支援の在り方について、仲間と共に学びました。慣れない雪国での生活の中で、本当にたくさんの学びと貴重な経験をすることができました。この2年間が、教師を続けていく上での大きな動機付けとなっています。

現在、軽度の知的障害のある生徒を対象とした高等部単独の分校に勤務しています。卒業後に就職を目指す元気な生徒たちからエネルギーをもらい、

活気ある日々を過ごしています。学校生活は、毎朝の部活動から一日が始まります。授業は工業や流通・サービスなどの実技を中心とした教科から、国語、社会などの机上で学習する教科まで、バラエティに富んでいます。働くためには何が必要なのか、生活面でも自立し、暮らしを充実させていくためには何が必要なのかを生徒と一緒に考えながら、一人一人の目標の達成に向けて共に励んでいます。

笠原研究室では、個別の指導計画、そして授業のP（計画）・D（実践）・C（評価）・A（改善）について学びました。そのノウハウを生かし、現在は教務主任として、学校の教育課程のPDCAに取り組んでいます。新しい学習指導要領の方向性を見極め、大学院で培った「学び続けること」を実践しながら、奮闘しています。

いつまでも学ぶことができる幸せが教師の魅力。学ぶことのよさ、喜びを生徒たちにも伝えていきたいと思っています。



渡辺 大倫
(わたなべ ひろみち)

愛知県新城市出身。愛知県立豊橋養護学校在籍時、平成21年度から2年間、特別支援教育コースで学ぶ。

現在は愛知県立豊川特別支援学校本宮校舎に勤務。教務主任として学校運営に携わっている。また愛知県教育研究論文優秀賞受賞、日本特殊教育学会での発表など、大学院での学びの成果を生かして精力的に活動している。

